

都心・ウォーターフロントにおける新たな公共交通システムの導入 (連節バスの本格運行)

1. 検討の経緯

平成 25 年度	神戸市総合交通計画の策定 ・都心・ウォーターフロントの回遊性向上をはかるための主な取り組みの 1 つとして、「新たな交通手段導入などによる公共交通ネットワークの充実」を位置づけ
平成 26 年度	新たな交通システム (BRT、LRT) の導入検討の開始
平成 27 年度	神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン] の策定 三宮周辺地区の『再整備基本構想』の策定
平成 29 年度	新港突堤西地区 (第 1 突堤基部) 再開発事業の優先交渉権者の決定
平成 29, 30 年度	検討の一環として、連節バス運行の社会実験の実施
令和元年度	連節バス本格運行の予定事業者として神姫バス株式会社を選定
令和元, 2 年度	連節バス本格運行に向けた協議・調整 ・都心～ウォーターフロント間における連節バス等運行に関する協議会の設置 (令和元年 8 月) ・プレ運行の実施 (令和元年 9～10 月、令和 3 年 1 月 (予定)) ・車両デザインの決定 (令和 2 年 9 月)
令和 3 年度	連節バス本格運行の開始

2. 連節バス本格運行の概要

(1) 事業コンセプト

『都心～ウォーターフロント間の回遊性や都市魅力を高める新たな公共交通システム』

①回遊性を高めるシステム

- ・歩行回遊を支援し、人を中心とした交通体系の構築
- ・誰もがわかりやすく利用しやすい交通環境の整備

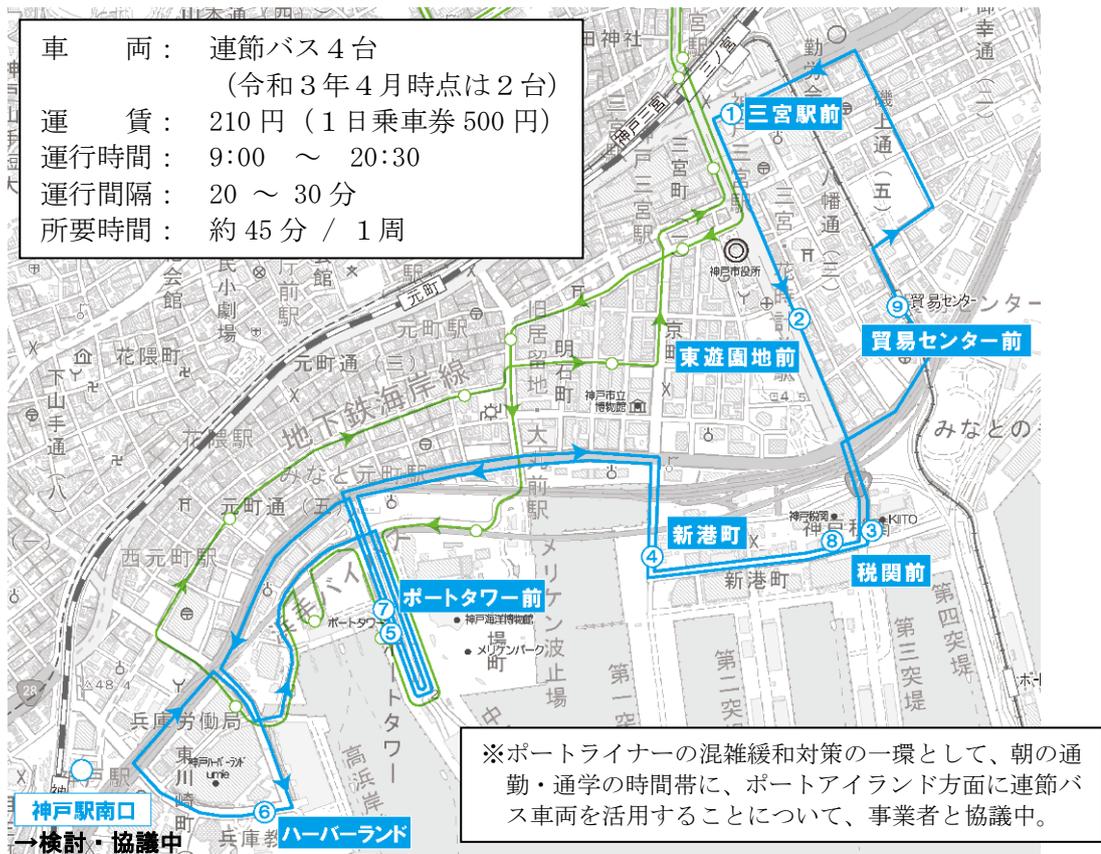
②都市魅力を高めるシステム

- ・神戸らしいデザイン性とシンボル性を備えた新しい交通手段の導入
- ・新たな公共交通システムとしてのトータルデザイン

③まちづくりと一体となったシステム

- ・将来的な都心・ウォーターフロントの再開発を踏まえた運行計画
- ・沿線地域の活性化を図るための沿線企業や施設との連携

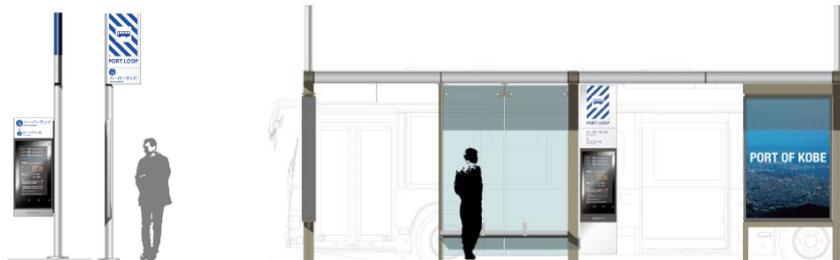
(2) 運行計画（検討中）の概要



バス車両
イメージ



バス停
イメージ



(3) 今後の予定

- 令和 2年 12月 連節バス車両の公開、路線名称の市民アンケート
- 令和 3年 1月 プレ運行の実施
- 4月 本格運行開始
- 本格運行開始後 運行ルート of 拡充検討・実施 (神戸駅や新神戸駅への接続等)
- 利便性・快適性向上の取り組み検討・実施 (待合環境の整備等)
- 定時性・速達性向上の取り組み検討・実施 (走行環境の整備等)
- BRT化・LRT化の検討